

親しく和やかに

当山先々代三吉日照上人の提唱による
当山スローガンです
揮毫=大本山本興寺御開士大平日晋上人

寺楽寿

No.44

令和3年3月1日発行



本覺山 妙壽寺 (法華宗(本門流))
〒157-0061 東京都世田谷区北烏山 5-15-1
電話 03-3308-1251 FAX.03-3308-7427
ホームページ <http://myojuji.or.jp>



季刊『寺楽寿』は東京都世田谷区北烏山の法華宗(本門流)本覺山妙壽寺が発行する寺報です。
檀信徒の皆さまをはじめ、妙壽寺にご縁のある皆さまに
広くお読みいただければ幸いです。

当山は、宗祖日蓮聖人聖誕800年記念事業として、古来より多くの作品が伝来するお釈迦さまのご入滅(お亡くなりになる事)に、お弟子方や諸動物がご遺徳を讃えた「涅槃図」(880×1430mm)を滋賀県在住の仏画絵師中村美希女史に描いていただきました。(別紙の絵ご案内参照)
現在、本堂に上がる階段手前に公開しております。ご来山の節は、是非ご鑑賞ください。



寺日記

てらにつき

- 1月1日 元旦国禱会
午前5時法要、宗祖歴代墓等参
- 1月16日 総代世話人役員・婦人会新年会中止
- 1月20日 先代祥月忌(正当28日)
本覺院日蓮上人位、昭和44年遷化
- 1月24日 桑港日蓮教会とWEB会議
同教会から会長石田和磨・幸代夫妻、理事・鈴木友子さん、宮崎さおりさん、当山から当住上人、園田顯教師が出席。
- 2月2日 節分会追儺式(写真左)
- 2月16日 宗祖日蓮大聖人聖誕800年正当法要
当山本堂において、当住上人および徒弟にて奉修(次号詳報)



供養と祈願

3月11日、10周年を迎える東日本大震災の後、幾度かの被災地巡拝を行う中、寺院の役割は供養と祈願に尽きることを改めて思い至りました。
この度の新型コロナウイルス感染症拡大において、ご不安を感じる皆さまに対し、どのような形でも、そのご不安に対するご祈願を承ります。当山まで、ご相談お申し出ください。

法要のご案内

(別紙参照)
新型コロナウイルス感染の拡大防止策を万全に施したうえ、奉修いたします。

春季彼岸会中日法要

3月20日(春分の日・土)

彼岸会法要 初座	午前 11時
動物諸霊法要	正午
歴代墓所・正隆廟法要	午後 0時 30分
彼岸会法要 第二座	午後 2時

新規墓所ご案内

3尺×4尺=6基
3尺×3尺=6基
2尺×2尺=8基
詳細は別紙参照願います。

宗務院 DIARY

1/8 御用始め	2/17 布教部、教学研究所以との連絡会
1/27,2/5,17 内局会議	2/25 小西日邊院下(大本山本興寺貫首) 管長推戴式 門相会
1/27 第88次僧階詮會	
2/10 教学研究WEB会議	
2/17 宗祖聖誕800年 宗務院法要	

正隆会

【SHORYU-kai】
午後2時開催
新型コロナウイルス感染拡大防止のため離隔距離をとり、実施いたします。

3月13日	勉強会「日蓮紀行」	拝読 12
4月10日	勉強会「日蓮紀行」	拝読 13
5月8日	勉強会「日蓮紀行」	拝読 14
6月12日	勉強会「日蓮紀行」	拝読 15
7月10日	勉強会「日蓮紀行」	拝読 16
8月	休会	

冷泉家 短歌

空おほふ夏なき黒雲に時津風
吹きゆく朝に春の日の影

冷泉家は明治以前まで宮中の公家諸般の行事の一つである天皇並びに皇子・皇族はじめ、公家百官の和歌の師範家として藤原定家より800年の長きに渡って和歌の指導に携わって来ました。冷泉家第二十五代ご当主夫妻より年賀状を頂戴しました。

梅原上人傘寿

逗子妙法精神教会の梅原正隆上人(当山職員)は、傘寿(80歳)を迎えられました。



これからも日々のお勤めに励み、ご健康であられますようお祈りいたします。

猿江別院御写経会

次の日程で、すべて午後1時より午後7時まで開催。
第20回 4月8日(木)
第21回 6月3日(木)
第22回 8月12日(木)
第23回 10月14日(木)

参加費：500円
(御写経御手本・半紙・美味しいもの)
*御写経御手本・半紙・書道用具筆ペンをご用意いたしております。

桑港・日蓮教会

【お礼】前号以来、布施行としてご寄進賜った皆様には、心よりお礼申し上げます。
当分の間、諸行事および文化教室は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すべて中止となりました。
1月14日 写経会開催

つっじ 躑躅観賞会

4月17日(土)・18日(日)

当山では、鍋島客殿(世田谷区指定有形文化財)と東祥苑(事務所棟)前の躑躅の庭を作庭いただいた当山世話人・故西澤義光氏の善行を記念し、平成26年より「躑躅観賞会」を開催いたしております。
当日は、鍋島客殿の二階を開放します。眼下に咲き誇る満開の躑躅をご観賞ください。
また、両日は当山から徒歩10分程の「西澤つっじ園」(世田谷100景)におきまして、躑躅の苗木の即売会を開催いたしております。
コロナ禍での開催ですが、散歩がてら是非ご来山いただき、お楽しみください。

TBSドラマ「俺の話」

(毎週金曜日午後10時放送)

能楽指導に浅見師

当住久美夫人実弟浅見慈一師(観世流能楽師・当山竹灯籠能主宰)が能楽指導を行い、代々木能舞台が緑山スタジオに再現されております。



藤原和子氏

(当山檀信徒 鳥山東地区民生児童委員会協議会会長
聞き手 三吉廣明上人
令和2年12月18日 於・妙壽寺 本堂階下洋室

住職 おはようございます。本日はお忙しいところ、ありがとうございます。

先日、世田谷区広報紙「せたがや」令和2年2月号に藤原さんが紹介されていて、それがお寺の中で話題沸騰でした。現在、鳥山東地区の民生委員・児童委員を務めておられるとのことですか。

実は、僧侶は民生委員、保護司を務めておられる方が多く、また、教誨師、篤志面接委員が結構おられます。そこで、この北鳥山地域で活動されている藤原さんに、私どもが意外と知らないことがたくさんあるのではと思います、そのあたりの事情も伺いたしたいと思います。

奥田(藤原)家と妙壽寺

住職 はじめに、藤原さんの生家の奥田家と妙壽寺について伺います。そもそも奥田家というのは深川からのお檀家ですか。

藤原 いえ、もともとは四谷辺りに住んでいたようです。父の兄弟が結構亡くなっていましたので近くの菩提寺の納骨堂に預けていたのですが、空襲で、お骨自体がなくなりました。終戦後に、今で言う仮設住宅を東京都が建てて、強制的に建物疎開しました。

住職 強制的にですか。

藤原 建物を壊してしまおうというので、父が出征中のため、祖父母が大八車で四谷から西荻に疎開したようです。父が戦争から帰ってきて、仮住まいで手狭なので、東京都が募集した住宅が当選して、10年後に鳥山の住宅を買って取ったようです。

住職 妙壽寺を菩提寺に決めたのは、お父様ですか。

藤原 菩提寺が焼失してしまつたので、祖母がお寺を探していて、妙壽寺さんにお願ひしたようです。

住職 四谷の菩提寺は、南無妙法蓮華經のご宗派だったのですか。

藤原 そうです。正直なところ、祖父母の子供が1年で2人亡くなったので…。

住職 当時は医療事情が悪いですからね。

藤原 そうです。祖父母は親としてとても胸が潰れるような思いだったと…。浄風教会という新宗教だと思いましたが、入信したようです。毎日一心不乱にお題目を唱えていました。

住職 実浄風教会(在家日蓮宗浄風会)とこのお寺の宗派は、もうほとんど同じ宗派ですか。

藤原 そういえば、家の仏壇は浄風教会の仏壇で、鶴のマークが上にありました。

民生・児童委員を20数年活動して

住職 藤原さんは、そもそも民生委員に何に関わりになったきっかけは。

藤原 小学生のときから仲のいいお友達がいまして、今でもつき合っている親友です。小学校高学年から中学生ごろになると、女の子同士でずつとおしゃべりして互いの家に泊まりに行ったりしますが、彼女のお母さんが民生委員をなさっていて、第2の母のようでした。

住職 親友のお母さんだからですね。

藤原 それで彼女のお父さんが、重い病気になって、介護をするうちに、お母さんも圧迫骨折して困っていました。日赤赤十字も務めていたお母さんが私に、民生委員が大変だから、代わってくれないかと言われたのです。私はまだ40代でしたが、何をやっ

ていいかわからないからと断つたのですが、全部教えてあげるし、分からないことは聞いてくれ。

住職 第2の娘のようなものですね。

藤原 私は昭和52年に結婚して、練馬に7年間住んでいましたが、父が亡くなって実家は母と妹だけになって、心細いからと言われて夫婦で戻りました。二世帯住宅になりましたが、結婚して藤原になったのに、藤原という名前がどこにもないんです。どうしても、「ああ、奥田さんね」となるので、主人の手前もあって藤原という名前を少しアピールしないとけないというののちよつとありました。

それから、私は子供が授かりませんでしたので、PTAとかの苦勞がありませぬ。死ぬときは人生の歩んだ軌跡をファイルに綴つてあると思つていて、私の場合はPTAのページ、子育てのページがない、薄いファイルです。何か社会の役に立つべきだと思つていました。

住職 実際、いろいろな事案に関わられる中で、やはり私たちは、お寺にいらして結構ドラマチックなことが多いです。民生委員も、そんなことあり得るのかと思うことはないですか。最初の3年、5年はご苦勞されたでしょう。

藤原 そうですね。ただ、民生委員は3年任期です。とりあえず3年は、石の上にも三年ではないですけど、その1期目は、何が何だか分からないです。言葉が頭の中で駆け巡つて、何だかよく分からないという世界でした。それが2期目に入るとすーつと入つてきて、この辺の話のうしろ話が見えてきて、3期目はこういう場合はこうしたほうがいいのではとか言えるようになっていく。そうすると、かれこれ10年選手になっているわけですね。そんなこんなで7期が終わりました。

住職 では20年オーバーということですか。すごいことですね。

藤原 叙勲を受けるのは10期以上、30年以上の方です。基本的にはボランティアです。何のお給料もありませんが、電話代等の経費がかかりますので、活動費が出ます。

住職 民生委員を務めていて、もちろん楽しかったこともありますが、大変だったこともあります。民生委員同士では、個人特定ではないですが、こういうのはどうしたらいいんだろうとか、親身になって言えるので、そういう仲間が増えたことはよかったですね。

住職 そうですね、同志ですね。

鳥山地域の特徴

住職 先ほど、各地で研修もあるということでしたが、鳥山の特徴というは何でしょうか。昔の区長さんが、鳥山は世田谷のチベットだと言つて、実際住んでいる私たちが反発したことがあります。

藤原 そう言われていましたね。今もその

言葉は生きていますよ。

住職 ああ、そうですね。

住職 地図上、突出しているじゃないですか。私には遠方の方々とおつき合いがあるの、世田谷というところと一括りに高級住宅地のイメージがあると言われます。鳥山はそんなことはなくて、庶民的で、なおかつ、農家の方々が頑張つてこられたエリアだなと感じます。藤原さんは鳥山という地域性をどう思われますか。

藤原 私の一番のルーツなので大好きですが、東京ではない感じがしますね。よい意味で鳥山村と呼べるようなところがあります。うちの近所なんか特にそうですね。人があまり動かないですね。ご存じのとおり、母はちよつと介護が必要だったので、自宅で介護していましたが、民生委員を引き受けたのと母が倒れたのが同時でした。

住職 そうだったのですか。

藤原 引き受けた後に倒れたので、それが前後していたら引き受けなかったでしょう。それは、一人暮らしの男性が倒れて、入院させ、菌ブラシや洗面器とかを私の家から用意しました。数日後に電話がかかってきて「今日退院します」ということで、夕方の食事サービスのお弁当をとって頂くと思つた家に行つたらいない。退院すると言つていたので、ドアのノブを回したら開いて、中で倒れていました。すぐに救急車を呼んで、救急隊に同乗してくださいと言われましたが、母が一人でうちにいるので5分待つてと。その方も一人暮らしで「お母さんと食べるから大丈夫」と言つてくれました。

普段の近所づき合いがあつて、「ああ、よかった」と思つた。そういう緊急なときに頼れる方はなかなかいないのではないですか。

住職 臨機応変なお願ひがね。

藤原 母には「自分の母親を放つておいて人様のことをやるなんて」と怒られました。でも、私しかないから、やるしかないじゃないですか。

住職 私は、個人的には、小学校の同級生の家には本当によく出入りしていました。寺町全体の行事の花祭りもあつて、寺町のコミュニティがもとともある。そこに自分もいるなどという思いがありました。この30年ぐらゐの間に、鳥山の地主さんとおつき合いが始まつてから、畑の作物を頂いたりして鳥山の地域性が色濃く感じられます。

住職 40年近く勤めて、お盆には23区を全部回ろうという程の思いがありました。

一戸のお宅に行つて、お顔と名前と家の雰囲気が一致するのは、3回行かないと駄目です。1回では無理です。

藤原 そうですね。私たちの子供の頃は日々同居してましたね。それが今、崩壊して孤立化しています。

住職 名目だけで自助、共助、公助と。言うじゃないですか。名目だけではなく、もつと個別な具体的な話で、何かそういうのがもうちよつと…。先ほど、今日の話の中で非常に心に触れたのは、自分の最後のファイルというお話で、そのファイルの中に自分の人生に対する納得と、それから周りの方たちとの関係性が完結するのではという気がします。

藤原 そのファイルは次の世でどなたに見せるか分からないですが、父母とか、祖父母に、あの子がこれだけやつて頑張つたねと頭をなでてくれたら嬉しいなと、心から思つたりはします。

住職 本当ですね。

藤原 だから、民生委員の活動をしていて嫌なことももちろんいっぱいあります。それこそ「かき回るな」といつて追返されたいこともあります。

同つて、例えば倒れたときに誰に連絡するか、息子さんたちの緊急連絡先を伺いますが、私の説明不足で、ご理解頂けないこともあります。

住職 いろいろの方がいらつしやいますからね。お寺も一緒です。今の藤原さんのお話で非常に思ひ至つたのは、葬儀社さんとお寺さんというのは、そこなんです。24時間関係ないですよ。初動態勢が大切なんです。先ほどのお母さんのお話ではないですが、自分を放つておいて行かなければならないわけですから。

藤原 そうですね。

寺院との共通性は「行つて」の精神

住職 今日お話を伺つていて、ふと思つたのは、山門を入つたところに宮澤賢治の「雨ニモマケズ」詩碑があります。建立の了解をとりに宮澤賢治の実弟のお孫さんにお会いして了解をとりました。そのときに、あの詩の一番ポイントなところは、上に書いてありますが、「行つて」とは、出かけていくということ。宮澤賢治は非常に宗教的な気持ちで「雨ニモマケズ」を書いていました。その一番大事なのは、何はともあれ出かけていく、つまり東西南北に出かけていって、お母さんの手伝いをする、まさに先ほど藤原さんがおっしゃつたように、病人の人があれば心配しなくていいよ、農家が不作のときは一緒にいるおるおる歩く、そういう精神が書かれています。その根つこのところは「行つて」ということです。

そういう点では、私たちの立場ですが、宗教というのは哲学ではないですから、常に行動、行いがなければいけません。そういう点では民生委員の方々が日々そういうふうに対応しているというのは、私は「行つて」の精神だと思つています。

藤原 民生委員制度は、二、三年前に

100周年を迎えました。大正6年に発足して、最初は方面委員という、上から目線のものでした。篤志家のような方がいて、施しを含めた感じで行つたのがスタートです。

90周年に「一人も見逃さない運動」をキャッチフレーズにして頑張つて、その地域で一人も見逃さないぞという勢いでした。あの3・11の大震災で、三十数名の民生委員が亡くなつています。あまり報道されていませんが、要するに、家で寝たきりの人がたくさんいて、助けに行くわけです。

住職 そうですね。

藤原 寝たままの状態であつた人、結構いると思つています。

住職 それは殉職ですね。殉死ですね。

藤原 すごかったです。みんなで冥福を祈りました。やはり助けるには、まず私たちが元気でいなくては行けない。それから、家族があつて私たちがいるわけですから、まず家族を率先する。助けに行くのはそれからだよねという話になって、誰も見逃さない運動というのは取り下げました。それだけの死をもつて反省をして、やはり身も蓋もないわけですね。自分の命なくなつたら、助けたくても…。

住職 今、そういうお話を伺つて、地域の特性の中で逆に思ひ至りました。昔、地元商店連合会の理事長さんに、お寺さんは死者儀礼ばかりで社会に対する関わりが足りないのではと言われたことがあります。厳しい一言です。

藤原 それは、すごい。

住職 それは私も分かつていることですから、非常に真摯に受け止めました。

藤原 私は、この寺町に小さい頃から来ていて、子供は墓地ではしゃぐな、走るなと。転ぶと土の中から引つ張るとか、祖母に言われたものです。ちやかちやかした気持ちでお参りしてはいけないという戒めだと思つています。

墓所が近くにあるというのは嬉しいですね。遠いと、やはり物理的に遠のいてしまつて、遠いところから、祖母がここに縁があつて、いいところを選んでくれたなと心から思つています。

住職 もともと考えてみれば、昔は鎮守の森があつて、お寺さんがあつて、困りごとがあつたら、和尚さんにちよつと相談してみよう。そこに戻れば、もう本当にそういうところなんですけれども、いろいろな社会の中でコミュニティが寸断されている部分があると思つています。もう少しお互いに気遣えるような社会になっていくといいなと思つています。

今日は、お話を伺つていて、本当に改めて民生・児童委員の活動と、その存在感を近くに感じました。今後ともいろいろとお教えいただきたく思つています。どうぞよろしくお願ひいたします。

藤原 こちらこそ、ありがとうございます。



鳥山北小学校同窓生の三吉廣明上人と藤原和子さん



世田谷区広報紙「せたがや」表紙(左から1番目が藤原さん)

民生委員・児童委員とは

民生委員は、厚生労働大臣の委嘱を受け、無報酬で担当区域ごとに活動しています。全員が子どもの抱える様々な問題を担当する児童委員も兼ねています。

民生委員・児童委員は法律上守秘義務を負っているため、相談内容が他人に知られてしまうことはありません。

(「せたがや」令和2年2月25日号より抜粋)